



# 岩城少年自然の家だより

自然は友だち 青い海原 緑の山なみ

のべ利用者数（1983年6月～2026年2月） 1,151,141 名 2月の利用者数 455 名

秋田県立岩城少年自然の家  
（ガンバル岩城）2026. 3. 19

## キッズキャンプ



### ～ もう春だ 外で遊ぼう ワカメとデイキャンプ ～

2月28日（土）、「キッズキャンプ～もう春だ 外で遊ぼう ワカメとワンデイキャンプ～」を開催しました。今回は当施設SNSから発信された事業担当者の思いと、参加者の感想をご紹介します。

「午後のプログラム『デイキャンプ体験』では、自然散策とたき火を計画しています。たき火の火でおやつを食べてもらいます。天気が心配ですがどんな天気でもキッズキャンプです。」

「道川漁港の事前確認に行ってきました。飯ごうポップコーン器を作りました。（構想1年）飯ごうの持ち手に木の柄を取り付けたのですが、たき火でも安全に楽しめそうです。」

「午前中は道川漁港でワカメ収穫体験。地域でワカメを育てている皆さんにご協力頂きました。生ワカメを見るのは初めてという子ども（おとな）も多く、触るのも初めてのようでした。」

「午後はデイキャンプ。初めて会ったお友達とも仲良く活動をしました。火の神様も登場して厳かに歌い、フォークダンスを踊り、ザリガニ池までマップを見ながら探検気分です歩いてもらいました。」

「最後はたき火体験。全員が薪を入れることを約束し、後半は定番のおやつタイム。火は危ないけれど楽しいと思ってもらえれば…。親御さんたちみんなで安全を確保して、子どもたちを楽しませてくれました。」

「鎌を使い野山を歩き、火を使い危険もありますが、子どもたちに体験してもらいたい活動を、大人の力を借りて実施しました。大人も楽しかったという感想をいただきました。ありがとうございました。」（以上、事業担当者）

「初めての参加だったので、こんなに充実した内容だと知らず感動しました。また、ぜひ参加したいし、周りにも勧めたいです。」（参加者感想）

これからも、県民の皆様のニーズを活かした主催事業を計画して参ります。



# 岩城少年自然の家だより

自然は友だち 青い海原 緑の山なみ

のべ利用者数（1983年6月～2026年2月） 1,151,141 名 2月の利用者数 455 名

秋田県立岩城少年自然の家  
（ガンパル岩城）2026. 3. 19



## 新年度に向けて



当施設をご利用いただきました皆様、ありがとうございました！

今年度は、所長として「シビックプライド」をテーマに掲げ、主催事業等を通じて地域社会に貢献できる施設運営を目指しました。そのために、団体や企業の方々へ足を運び、地域の方々との絆やネットワークを構築するために、対話の機会を大切にしました。

今年度の最重要課題は、学校以外の利用者数の増加でした。課題の解決に向けて新規事業を展開しましたが、その結果、事業参加者の平均年齢が20歳以上引き下げられ、子育て世代や、労働の中核世代などの新たな事業参加者を獲得することができました。

また、海山とともに川や沼をフィールドにした事業を展開し、様々な業種の方との対話をとおして優れた地域講師陣と出会いました。事業では、参加者が互いに交流して新たなコミュニティーを形成し、成人のリピーターが増えるなど、社会教育施設としての可能性を実感できました。

当施設の職員は、ゼロ予算での自然散策路改修作業に挑戦し、事業アンケートの結果を基に事業の見直しを図り、企業・団体ヒアリング調査等に取り組みました。職員の尽力に頭の下がる思いです。

皆様、一年間本当にありがとうございました。新年度は、安全対策の充実や多様な施設活用の促進、県民のニーズを生かした事業や地域課題を参加者の学びに繋げる事業の計画に取り組んでいく所存です。

令和8年度4月は、4月13日（月）「利用相談会」、19日（日）「オープンデー」を予定しています。令和8年度も「岩城少年自然の家」を、どうぞよろしく願いいたします。